

の南九州

第 4 号
平成 20 年 11 月 5 日発行

議会だより

MINAMIKYUSHU CITY



稲刈りを体験する大丸小の子どもたち

災害復旧事業など2億2千万円補正 2

請願・陳情 3件採択 5

19年度一般会計決算 98億円 6

いっぱん質問・13人が登壇 8

新市によせる 16

災害復旧事業 など補正

一般会計

補正額 2億2,360万6千円
予算総額 204億3,843万7千円

補正予算の主なもの

9月定例会は、9月2日から26日までの25日間の会期で開催されました。補正予算、平成19年度会計決算、条例の制定・改正、土地開発公社の設立など慎重審議の結果、いずれも可決・認定されました。請願、陳情については、3件を採択、1件が継続審査となりました。

友好都市と 交流を推進

友好姉妹都市 交流推進費

91万6千円

佐賀県小城市との姉妹都市協定などを締結するための経費と福岡県北九州市との交流開始に伴い、北九州市で開催される農林水産まつりに参加し、南九州市の農産物などの宣伝、販売を行う。

農林水産まつりの概要

期日 平成20年11月29日

～30日

場所 北九州市立総合農事センター



北九州市農林水産まつり

―審査の中で―

問 農林水産まつりには、答 サツマイモや焼き芋の販売、お茶の手揉み体験などを検討している。

平和公園多目的球場 ソフトボール本部席改築

平和公園管理費

1,030万6千円

平和公園の安全かつ効率的な管理運営を行い、市民の利用に供するため、公園施設の修繕と多目的球場ソフトボール本部席改築工事を行う。

提出され、当初予算の計上ができなかった。今後、九州レベルの大会が予定されていることから、役員や審判員控室の整備が必要である。

―審査の中で―
問 9月議会で予算を計上した理由は？
答 本年2月にソフトボール協会から要望書が

12月から整備し、来年の大会に対応できるようにしたいため今回の補正となった。



本部席改築を行う平和公園多目的球場

さつまいもバイオ苗の 増殖・供給

知覧農業振興センター 管理運営費

110万円

平成21年度以降、ハウスを利用したさつまいものバイオ苗増殖供給事業や圃場を利用した新規特産農作物の発掘を目的した試験栽培事業を実施するもので、その準備経費と管理人の賃金である。

―審査の中で―

問 サツマイモの苗の需要は、どの程度と考えるか。

答 小規模農家は、苗床をする農家が少なく、特に川辺地域、知覧地域北部地区の農家に供給していきたい。



農業振興センターハウス内で増殖されるバイオ苗

小学校の 安全対策

小学校施設 管理費

540万円

大丸小学校の天窓からの落下防止対策として、進入防止フェンス（107・85メートル）、進入防止格子（4カ所）の設置工事と、勝目小学校の屋上（77・6平方メートル）の防水補修工事を行う。



大丸小学校の天窓の現地調査をする文教厚生委員

農業用施設災害復旧費

3、682万1千円

8月19～20日の豪雨及び9月18日の台風13号による農地及び施設の災害を復旧し、機能回復を図る。

- 災害箇所
 額娃支所管内
 農地2件 施設6件
- 知覧支所管内
 農地1件 施設1件
- 川辺支所管内
 農地3件 施設2件



額娃地域二ツ山地区の災害現場

公共施設
災害復旧費

260万5千円

9月18日の台風13号により、額娃庁舎東側屋上の防水シートが破損し、室内へ雨水が流入したため、復旧工事を行う。



額娃庁舎屋上の防水シート破損箇所

用水路の整備

農業農村整備
対策事業費

500万1千円

額娃地域上洲地区の用水路の一部が土側溝であるため、U字溝を延長140メートル布設する。



上洲地区の用水路

その他の主な補正

総務費

- 庁舎管理費 445万円
- 3庁舎の老朽化による補修・修繕と知覧庁舎の喫煙所設置、「南九州市」名入りテント購入など。

民生費

- 身体障害者更生援護事業費
 1、403万5千円
- 身体障害者などの福祉増進を図るため、補装具及び更生医療給付を行うもの。

農林水産業費

- 中山間地域対策事業費 423万8千円
- どんどんファーム古殿、下山田甘しよ生産組合、上山田甘しよ生産組合の自走甘しよ収穫機導入に対する補助。

土木費

- 市道補助整備事業費 668万6千円
- 国庫補助率の引き上げ

教育費

- 学校整備積立基金費 2、022万1千円
- 学校校舎の耐震補強や大規模改造を計画的に実施するため基金へ積み立てるもの。

特別会計

- 老人保健事業 1億9、404万1千円
- 介護保険事業 1億5、514万2千円
- 簡易水道事業 1、169万5千円
- 農業集落排水事業 80万円
- 公共下水道事業 105万8千円

企業会計

- 水道事業 (収益的支出) 200万円 (資本的支出) 600万円

継続審査

後期高齢者医療制度を中止し、廃止を求めることについて

- 提出者 日本共産党南九州市委員会
 委員長 大倉野 由美子

土地開発公社設立

鹿児島県市町村土地開発公社の解散に伴い、新たに「南九州市土地開発公社」が設立されました。
 土地開発公社は、公共用地・用地などの取得・管理・処分を行うことで、地域の秩序ある整備と住民福祉の増進に寄与することを目的とします。

対象となる土地

- 道路・公園・緑地その他の公共施設などに供する土地
- 観光施設事業の用に供する土地
- 史跡・名勝又は天然記念物の保護などに必要な土地など
- 事業内容
- 住宅用地の造成事業
- 工業用地の造成事業など

請願と陳情

採択された3件については、内閣総理大臣ほか関係機関へ意見書を提出しました。

採択

郵政民営化法の見直しについて

- 提出者 浮辺 正幸

趣旨

郵政民営化法により「各種サービスの質の劣化」「利用者利便の低下」など都市部、地方を問わず顕在化しており、地域住民からの不安の声も多い。

特にゆうちょ銀行と、かんぽ生命については、郵便局への業務委託が将来的に保障されていないため、地方の他の金融機関のない地域住民にとっては、生活上の大きな不安となっている。

意見書

ゆうちょ銀行、かんぽ生命の金融2社についても、将来的に郵便局において確実にサービスが受けられ、国民の利便性に支障が生じないよう、法的見直しを要望する。



地元商業育成について

- 提出者 (株)キャンパス
 代表 西 利見

趣旨

地元業者は、大型量販店などの進出、市役所における予算の削減による購入額の低下により、市場の縮小化と収益率が低下し、厳しい経営状況を強いられている。

地域雇用、納税など、市の発展に貢献していることから、地元業者への配慮を要望する。

意見書

- ① 地元業者が調達可能な事務用品、事務機、教材備品などの入札参加者は、原則として本社が南九州市にある業者とすること。
- ② 地元業者の経営育成を勘案した購入に努めること。

限られた財源の中で 効率的な財政運営を

19年度（平成19年12月～ 20年3月 4カ月間）決算額

特別会計・企業会計

89億8,155万円

一般会計

98億187万円

平成19年度一般会計と6特別会計及び水道事業会計決算認定が9月定例会において上程されました。

議会では、一般会計決算特別委員会と特別会計決算特別委員会を設置し、歳入歳出決算書及び事務事業別決算説明書に基づき、また、監査委員の決算審査意見書を参考に執行部の出席を求め審査しました。

特別会計・企業会計決算額（単位：万円）

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険	32億3,379	30億9,348	1億4,031
老人保健事業	34億4,000	34億1,210	2,790
介護保険事業	16億7,485	15億4,144	1億3,341
簡易水道事業	3億6,390	3億4,649	1,741
農業集落排水事業	3,296	3,089	207
公共下水道事業	3億2,444	3億1,111	1,333
水道事業			
収 益 的	1億1,219	1億1,515	
資 本 的	1億1,781	1億3,089	

水道事業

水道料の徴収方法については、全市で統一し、市民への公平性と財源確保の面からも、滞納の縮減を図るよう要望する。



打出口地区の汚水管布設工事

国民健康保険

保険税収納率は92%で税負担の公平・公正の面から収納率アップのため、滞納整理対策室、税務課を中心に臨戸徴収や電話による催促を行い、厳正に対処するよう要望する。

老人保健事業

94%が医療諸費であることから、今後も医療費の抑制につながる施策を講じるよう要望する。

介護保険事業

今後、高齢化の進展に伴い、介護給付の増は避けられないことから、不納欠損とならないよう、また、可能な限り居宅介護、支援サービスを継続する家庭の維持と支援策を更に充実させるよう要望する。

簡易水道事業

水道未普及地区が残っていることから、早急に未普及地区の解消に努めること。

農業集落排水事業

加入率については、川辺東部地区83%、知覧垂水地区82.5%であることから、加入率アップの取り組みを強化するよう要望する。

公共下水道事業

知覧地域打出口地区汚水管渠布設及びマンホールポンプ1カ所が工事完成しているが、加入率アップに一層努めるよう要望する。

徴収率の向上を

平成19年度一般会計の歳入総額は106億3,286万円、歳出総額98億1,871万円で、不納欠損額1,757万円、収入未済額は4億1,103万円、そのうち国庫補助金の繰越明許費2億4,964万円、市税1億5,089万円、保育所負担金514万円、住宅使用料200万円、給食費負担金116万円などであり、市民の納税義務に対する意識低下を招かないよう、的確な徴収事務に取り組むことを要望したところであります。

財政運営について、財政指数の実質収支比率は5・5%（3から5%が望ましい）、公債費比率は12・3%（10%以下が望ましい）、經常収支比率は96・2%（75%以下が望ましい）で、指数が示すとおり極めて硬直化した財政運営であり、財政の健全化のため、抜本的な財政改革を強く望むものであります。

一般会計決算の概要（単位：万円）

区 分	19年度	内 容
歳入	市 税	7億7,376 市民税などたちが直接納めるお金
	地方交付税	6億7,814 市町村の均衡を図るため国が交付するお金
	国県支出金	28億7,881 国・県が使用目的を特定し交付するお金
	市の借入金	15億2,717 市が事業のため借り入れるお金
	その他	47億7,498 使用料、繰入金、諸収入など
	合 計	106億3,286
歳出	民生費	17億7,562 子どもや老人、障害者など福祉全般の事務・事業に使うお金
	農林水産業費	15億2,008 農業、林業、水産業に使うお金
	土木費	12億8,748 道路や公園整備などに使うお金
	公債費	15億1,367 市の借金を返済するお金（元金・利息）
	その他	37億 502 生活環境や教育関係などに使うお金
	合 計	98億 187

市債（借金）と基金（貯金）の年度末残高の推移（特別会計除く。また、18年度までは旧3町合算）（単位：万円）

年度	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	
借金	251億1,704	248億2,514	244億1,472	241億1,568	228億8,277	過疎対策事業債や臨時地方道整備事業債ほか
貯金	68億3,638	58億1,548	55億8,558	54億3,049	56億1,337	積立基金や定額運用基金など

市民の声を 市政に問う!

未利用地の有効活用を図れ

市長／売却の方向で検討し、
財源確保に努める

深町 市有地の未利用地があるが、有効活用するために、地域への貸与による管理軽減や売却などを行い、財源確保を図る考えはないか。

また、ホームページや広報誌などを使って広く公売広告し、売却を進め



深町 幸子 議員



燃料費高騰の影響を受ける農家

自主防災組織率アップの対策を示せ
市長／未組織自治会への説明会を実施

深町 6月議会において自主防災組織の組織率アップを図る考えはないかと質したが、その後、検討された対策を具体的に示せ。

市長 現時点において、113の未組織自治会が

る考えはないか。

市長 副市長をトップに関係課長が話し合いの場をもって、それぞれの活用策を考えている。

具体案が出たら、ホームページや広報誌などを使って売却を進め、財源確保に努める。

ど、どのような対策を講じていく考えか。

また、原油価格、物価の上昇にあえぐ農家を支援するため、緊急補助を行う考えはないか。

市長 お茶の振興策として堆肥の投入や減農薬の推進、生産コストの削減に努め、優良品種の導入

技術指導を強化し、品質の底上げをし価格低迷に対応していく。

販路拡大では、南九州市が率先してリーフ茶を飲む運動を展開したい。

畜産対策としては、国の方で特別支援資金や各種支援策が講じられており、関係機関と連携をと

あり、現在、副市長をはじめ市職員及び分遣所職員などによって、未組織自治会長に説明会を行っている。

今後、自治会からの要請があれば説明に向き、組織率100%を目標に取り組みたい。



未利用地の瀬戸山小学校跡地

今回

13人

いっぱん質問



塗木 弘幸 議員

原油高騰に伴う農家への対策は
市長／関係機関との連携を図り推進

塗木 原油高騰や農業資材の値上がりにより、農家の収入が激減している。基幹作物のお茶・畜産の振興について、お茶の販路拡大やリーフ茶飲用のPR、生産コスト削減のための堆肥使用の促進な



永吉 義輝 議員

永吉 南さつま衛生センター建設（し尿処理施設）は、万之瀬川改修計画に合わせて進めるとのことだが、住民説明会の実施など、早期に取り組む必要があると考える。南薩地区衛生管理組合の構成市長との協議はどのように進んでいるか。

市長 現段階では、平成25年度に河川改修協議を開始し、28年度し尿処理施設の供用開始を目指すなど、話し合いがなされている。

今後においては、県や構成市長とも協議していく。

頼娃に建設計画の最終処分場は
市長／地域の声を反映し、計画を策定

永吉 指宿広域市町村圏組合が計画している管理型最終処分場の建設について、住民との協議は十

し尿処理施設改修に対する組合の対応を示せ
市長／県などと協議し、28年度供用開始を目指す

分に行われていないままに、計画や協定書が交わされている。

今後、基本計画策定時は、住民への説明が第一と思うがどうか。

山内副市長 組合は、郡

区では住民への説明会や研修などを行ったが、具体的な計画は示されなかったところである。

市長 今後は、十分に計画の説明や話し合いを行い、整備を進めていく。



南さつま市にある南薩地区衛生管理組合

職員の懲戒処分委員会 に外部の登用を

市長／現在は登用する考えはない



竹迫 毅 議員

竹迫 職員の分限及び懲戒処分審査委員会規定の第4条に、委員会は副市長・教育長・総務部長・総務課長・処分当事者の部長又は支所長及び主管課長をもって組織するとあるが、公平公正を保つには外部の人を委員に加える必要があると考える

がどうか。
市長 職員の懲戒処分については、指針を定めている。また、処分については、現在の審査委員会で基準に従った処分を厳正に審査、協議し、答申願えるものと認識しており、外部からの委員を登用する考えはない。

市の発展は、士気の上がる人事から
市長／旧町の枠を取り払い人事に取り組む

うが、市長はどのように考えるか。
市長 合併してあまり経っておらず、旧町の枠を取り払えない面もあり、それぞれの旧町の支所に旧町の職員をできるだけ配置した。
また、適材適所に努めているが、多くの職員を抱えており、それに伴わない面も出てきている。合併後9カ月経過し、今後は、旧町の枠を取り払い全体的な人事に取り組みたい。また、適材適所については、今後、いろいろな方々からの意見を聞きながら人事配置を行っていく考えである。



南九州市例規集

ホテル進出への対応は

市長／情報提供など協力する



東 兼喜 議員

東 民間企業によるホテル進出の話を聞くが、市はどのように対応しているか。

市長 平和会館の近くに建てたいとの申し出があったが、検討の末、周辺に合致する市有地がないことから、民有地の検討を提案した。その後、武家屋敷付近の遊休地の依頼もあったが、伝建地区内は用途が指定されており、ホテルなどの建設はできないことを伝えた。企業側で土地を取得し、将来にわたってホテル経営していくのが望ましい。今後は、通過型観光からの脱却や地域の振興を

図る意味からも情報提供など協力したい。

未利用地の活用策は
市長／売却を含め検討中

東 市の未利用地の活用策はどのように考えているか。



観光客で賑わう平和公園駐車場

市長 将来にわたって、利用価値のない土地、建物などは、財源確保の観点から売却を含め検討中である。
財産は、市民共有のものであることから、公平公正の処分手続きに基づき、原則として公募による払い下げを行う。

環境保全型農業への 取り組みは

市長／消費者ニーズに沿った農業の推進



蔵元 慎一 議員

蔵元 本市の基幹産業である農業は、南九州の食料供給基地として重要な役割を担っている。

このことは、地球環境、食の安心・安全、国土の保全という多面的機能も持つっており、将来を担う子孫に受け継いでいかなければならない責務がある。

今後の環境と調和した農業の取り組みをどのように考えているか。
市長 生産面においては、化学肥料や農薬への依存傾向がみられる一方で、消費面では、有機農産物などに対する消費者のニ

ーズが高まっている。現在、市内においてもエコファーマーが増えつつあるが、市内で生産される堆肥の利用を推進し、安心・安全な農産物を消費者に届けられるよう取り組みたい。

耕畜連携による循環型農業対策は
市長／地域で生産される堆肥の利用を推進



耕畜連携による農業

蔵元 バイオエタノール増産、原油の高騰による飼料価格、化学肥料の高騰が続いている中、耕畜連携による循環型農業の必要性が高まっている。現在の取り組みと今後の方針をどのように考えているか。
市長 それぞれの農家で使用する肥料や施肥体系を見直し、地域で生産される堆肥を土壌改良材や肥料として利用していくよう推進する。

ふるさと寄附金の 使途は

市長／平和情報の発信などの経費に充てる



菊永 忠行 議員

菊永 きばいやんせ南九州市ふるさと寄附条例を6月定例議会で制定し、その使途は、「平和」「福祉の向上」「地域活性化」「教育の推進・文化の保全」「市長が必要と認める事業」の5項目を掲げているが、どのような事業に充てる考えか具体的に示せ。
また、現時点における寄附申込みは何件か。



市長 この条例は、寄附者の思いを具体化することによって、多様な人々の参加による個性豊かで活力あるふるさとづくりを進めていくものである。「平和」については、重要性を内外にPRする平和情報の発信など。「福祉の向上」については、高齢者の生きがい対策や子育て世代が安心して暮らせる社会の実現。「地域活性化」については、地域コミュニティ施設の整備や集落再生。

「教育の推進」については、小中学校の施設整備、各高等学校の活性化、文化遺産の保全、青少年の健全育成・研修など。その他市長が認める事業については、環境対策など、ふるさとの自然環境保全のための事業や市が認める事業に充てる計画である。
今後、寄附の状況などを見ながら、予算で具体的に示す。
なお、現在の寄附申込みは13件である。

農業後継者確保の対策は

市長／研修生を受け入れ 各種支援を行う



田之脇 厚 議員

田之脇 人口の高齢化に伴い、農業従事者も高齢化しているが、現在、専

業農家は何戸で、そのうち後継者のいる農家戸数は何戸か。
また、後継者確保のため、農業希望者を誘致する考えはないか。

市長 専業農家は1、381戸で総農家戸数の32・8％である。後継者数は699人となっている



クルクマシャロームの花を摘む研修生ら

が、農業後継者数を全て専業農家の後継者として考えた場合、確保している専業農家の割合は50・6％である。
また、農業希望者は、顕娃農業開発研修センターなどで研修生を受

け入れ、各種支援を行いながら、将来の担い手として、就農へ導く方策を講じている。

遊休農地の活用 対策について

市長／担い手農家へ流動化を進める

田之脇 農業経営者の高齢化と後継者不足のため遊休農地が多く見受けられるが、本市の遊休農地の面積を示せ。

また、規模拡大を図る農家への遊休農地の活用対策はどのように考えているか。

市長 昨年の調査結果で、顕娃地区14・9ヘクタール、知覧地区20ヘクタール、川辺地区11・1ヘクタールの遊休地が存在している。

本年度は、耕作放棄地の全体調査を行って、リストを作成し、要活用農地については、地権者の意向を確認したうえで認定農業者など担い手農家へ農地流動化を進めていく計画である。

総合計画の策定 状況を示せ

市長／策定委員会や市民会議などで作業を進めている

森田 新市総合計画の策定委員会の協議や庁議の内容など、現在の取り組みを示せ。

市長 総合計画策定委員会は、これまで1回開催し、策定方針、策定に係る役割分担などを協議している。

作業グループは、施策の基本方針、現状と課題、施策の体系展開、目標指標などを定めるシートを作成している。

市民会議は、これまで4回開催し、ワークシoppを重ねている。

市民、職員からの施策提案については、検証チームで検討し、関係各課へ問い合わせ作業中である。

総合計画は、本市の進路を定める最も重要なものであることから、策定作業には、最善の努力をしていきたい。

事務事業の調整 状況は

市長／平成21年度も 引き続き調整



峯苔 勝範 議員

峯苔 合併協議会で協議された事務事業の一元化が見えてこないという意見が市民から聞かれるが、調整はどのような進捗状況か。

市長 旧3町の事務事業1、639件を40項目に分類し、合併協定書が調印されたが、合併時に未調整の事務事業が496

件(30・26％)あり、平成21年度以降も引き続き調整される事業は、88件(5・37％)である。また、市民への周知は、広報南九州市の中で周知を図っていく。

市立保育所の民営化 を含め調整は

市長／計画的に民間移管の方向で検討

峯苔 平成18年度に勝目保育所(仮称)建設事業計画として予算計上し執行されたが、他の市立保育所の民営化を含め、今後どのように調整する考えか。

市長 川辺地域に3市立

保育所があるが、現在民間移管検討委員会を設立し、その時期や方法について検討している。また、老朽化が激しい上山田保育所は建て替えが計画され、古殿保育所は改修が必要と考える。

その他の質問

・都市公園使用料の統一について
・顕娃給食センター改善指導の内容と対応について
・通学補助について



民間移管が検討される施設

行政改革大綱の 最重要課題は

市長／職員の意識改革と人材育成が重要



満留 秀昭 議員

満留 南九州市行政改革大綱の実現に向け、最も重要なことは何であると考えてるか。

また、市町村も一経営体だという強い認識、自覚を持つことが最も重要だと考えるが、市長の見解を問う。

市長 本市の基本理念の実現のため、職員の意識改革と人材を育成するとともに、共存協働でのまちづくりを行い、実施計画を策定し、常にその進管理を行い、不断に見直しを行うことが重要と考える。



市長の諮問事項を審議する行政改革推進委員会

いう認識、自覚を持つことは重要なことだと考える。

人事評価制度の 取り組みは

市長／国家公務員の人事評価を参考に検討

満留 南九州市行政改革大綱(案)で、人事評価制度の導入の検討とある

が、早急な取り組みが必

要と考える。具体的取り組みを問う。
また、企業等では、管理職試験など、人事評価の因として取り組んでいる。県ともタイアップし、実施する考えはないか。

市長 現在、職員の評定については南九州市職員勤務評定実施規程による勤務評定のみで、今後、国家公務員の人事評価を参考とした人事評価制度の導入の検討を考えている。

また、管理職試験などについても検討したい。

認定こども園への 取り組みを示せ

市長／保育所は検討委員会で協議中 教育長／幼稚園は検討を見送る



森田 隆志 議員

森田 国の教育再生懇談会などで、「認定こども園」2、000園の早期達成など一定の方向性を示しているが、市長・教育長は、本市における認定こども園についてどのように取り組む考えか。



幼児教育の充実が望まれる保育所

移転改築の進捗状況を示せ。
市長 保育所の民間移管の段階で、認定こども園に移行可能な施設については、運営条件などを市立保育所民間移管検討委員会で協議中である。また、上山田保育所については、文化財の確認調査が終了したので、平成21年度保育所を建設する予定である。
教育長 公立幼稚園の幼保連携については、認定基準を満たす条件整備の問題、既存の施設に与える影響など考慮すると設置は困難だと判断し、現段階では認定こども園についての検討を見送っている。

えい秀峰園の民間移管の計画を示せ

市長／平成22年4月から社会福祉法人に移管したい



柚木 茂樹 議員

柚木 えい秀峰園の民間移管計画の経緯と経過及び移管内容を示せ。

市長 旧知覧町の寿楽園の民間移管を踏まえ、合併協議で民間移管の方向で検討調整するとしていることから、えい秀峰園民間移管検討委員会を設置し審議した。移管内容は①これまで同様の事業、

定員で継続すること。②建物及び工作物は、無償譲渡すること。③補助事業以外の物品は、有償とすること。④土地は、有償とすることとし、平成22年4月1日を移管日とする予定である。職員14人は原則本庁で吸収する。

当委員会は、平成20年5月26日に寿楽園を調査し、民間は専門的ノウハウが豊かで事務効率が高く、公営の場合、経営感覚の欠如があるなどの理由により結論を出したところである。



えい秀峰園

水道料金体系の統一の計画と時期は市長／平成26年度までに協議し検討していく

柚木 水道料金体系の統一化の計画とその時期を示せ。また、簡易水道事業の地方公営企業法の適用の考えはないか。

市長 水道料金の統一は、南九州市水道事業全体の収支を踏まえ、適正な料金水準を把握する必要がある。合併5年間は現行のままとし、まず顕娃地区の水道料の統一を図り、旧3町の統一化は、26年度までに達成したい。顕娃地区の水道未普及地の解消や水道管の更新等多額の投資が必要ことから、南九州市総合計画の中で策定し、段階的に統一化を図りたい。

また、川辺地区の簡易水道は、基礎調査を進め、公営企業法適用に移行したい。顕娃地区は、全体への影響を考え、公営企業法適用が望ましいか、検討していきたい。

サツマイモの振興対策は

市長／国・県との連携を図る



松久保 正毅 議員

国庫・県単独事業導入により施設整備を行っていく。さらに、品質収量の向上のためバイオ苗の供給、食の安心・安全を確保するための「かごしまの農林水産物認証」の継続と国・県の研究機関及び関係機関と連携を図っていく。

担い手経営

安定対策は

市長／交付対象者へ誘導する

松久保 国は、日本の農業の競争力を強化するために担い手を対象とした経営安定対策の新たな政策を平成19年度からスタートさせた。南九州市では、青果用甘しょ386ヘクタール、でん粉用甘しょ744ヘクタールが作付けされている。担い手農家以外の特例措置が2年後



サツマイモの収穫

には廃止されるが、50アール未満の生産者をどのように育成していく考えか。

市長 サツマイモ作付け面積が50アール未満の生産者については、3年間の特例措置が適用されているが22年度以降廃止され、国からの交付金が受けられなくなる。今後は、50アール未満の生産者が要件を満たすために認定農業者への誘導、共同利用組織、委託作業など地域に合う方策を検討し、関係機関と一体となり、交付対象者への誘導を図っていききたい。

その他の質問

・原油価格の高騰による農家への支援について

19年度決算の財政4指標報告

南九州市は「健全」

9月議会で、南九州市の財政健全度をチェックする平成19年度決算の財政4指標が報告され、いずれも健全と判断される数値であった。

普通会計の収支を示す「実質赤字比率」と普通会計に公営事業会計（国保会計や介護保険会計、水道事業会計など）を加

財政4指標		(単位：%)		
区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	—	—	12.5	71.2
早期健全化基準	12.98	17.98	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

えた「連結実質赤字比率」は、黒字だったことから「数値なし」である。

※標準財政規模に占める借金返済の割合を示す「実質公債費比率」は、平成17年度から平成19年度の平均12・5％で、財政破たんの危険基準である早期健全化基準の25％を下回っている。

地方債残高や職員の退職金など将来の借金が財政規模に占める割合を示す「将来負担比率」は、71・2％で、早期健全化基準の350％を下回っている。

また、公営企業会計（水道事業、簡易水道事業、農業集落排水事業及び公共下水道事業）に係る資金不足比率は、4会計ともに資金不足額が無いことから「数値なし」である。

※標準税率で算定した税収入額と地方道路譲与税などの税外収入に地方交付税を加えた額

地域活性化に 創意工夫を

◆ 県市町村政研修会 ◆



市議会自主研修会

鹿児島県市町村政研修会が8月8日、鹿児島市民文化ホールで開催され、二人の講師が講演しました。

「団魂世代と地域活性化」の講演では、地域に眠るさまざまな文化・景観・産物を強く意識することで、新しい魅力が見いだされる。その発見、創造により、地域全体のデザインを磨くことで経済的に自立した地域づくりも可能となる。また、これらの取り組みに、団魂世代が人生の再チャレ

ンジとして果たす役割が大きいとの内容でありました。

それぞれの地域をあらためて見直し、その魅力に創意工夫を重ねて、地域の活性化につなげたいものです。

その他「地球環境とエネルギー」と題した講演もありました。

市議会自主研修

「地方自治法の一部改正について」

県町村議会議長会の徳留幸治氏を講師に招き、8月25日、委員会室で議員研修会を開催しました。地方自治法の一部改正により、全員協議会などを会議規則で「協議又は調整を行うための場」として定めることにより、その活動は正規の議会活動として位置づけられる。また、議会における議員の発言について、言論の府と言えども、会議のルールに従った節度ある発言が求められることなどの説明を受けました。

所管事務調査

各常任委員会は、議会閉会中に次のことを調査します。

総務常任委員会

「防災体制の現状と今後の対応策について」

防災無線や自主防災組織など、防災体制の充実について調査する。

文教厚生常任委員会

「小規模校対策について」

市内の小中学校の現状と山村留学制度について調査する。

産業建設常任委員会

「市営・公営住宅の現状と今後の対応策について」

空き家となった老朽住宅の撤去や一定期間過ぎた住宅の改修など、住宅政策の課題と今後の計画的な取り組みについて調査する。

新市によせる!!



額娃高校1年生

岡元 真奈

未来に輝く新市に

三町が合併したのは、私が中学三年の二期の時です。

『南九州市』何となく言いにくいし、馴染めな

いと思っています。時が経ち、今では住所を書くのもすらすらと書けるようになり、響きのある南九州市です。

私は、小学校の時から

剣道を始め、中学、そして高校でも剣道部に入りました。一学期の時にい

じめに遭い、ずっと悩み剣道をやめる覚悟で顧問の先生に相談しました。

「おまえは、何のため

に今まで剣道をして来たのか・・・」と叱られ、最後は先生に肩をかくく叩かれ、「もう一度頑張るんだ」と言われました。

私も少し気が楽になり、あと一カ月頑張ってみようと思ひ、また部活に専念しました。すると次第にいじめも無くなりました。

今では、あの時剣道をやめないうで良かったと思ひ、先生や先輩に感謝しています。

一つの事を何があつてもやり遂げると、そこには必ず道が開けると身をもつて感じています。

新市にはじめのない学校教育や、お年寄りが安心して暮らせる福祉問題など、まだまだ色々な事が山積みしていると思ひます。

これからは、皆で一つ一つ解決して、私たちが大人になった時は、本当

に南九州市に生まれ育つて良かったと、他の市や町にも誇れる希望に満ちた未来に輝く南九州市であつてほしい。



知覧中学校3年生

西元 大志

平和を語り継いで

いける新市に

南九州市が誕生し、間もなく一年になろうとして

います。しかし、僕自身生活が変わったという

ことは特にありません。

南九州市でも知覧町でも住んでいるところは同じ

なので、いままで通り過ごしてきているからです。

二カ月ほど前、毎年行

われる平和へのメッセージ知覧で「平和を語り継ぐ都市」宣言をさせて頂きました。宣言文にもあつたように、今の暮らしが戦争による多くの尊い犠牲の上に成り立っていることを忘れず、平和と命の尊さを語り継いでいけるよう、どんなわずかなことでも、この新しい南九州市に貢献していきたいと思ひます。

知覧中学校でも、もつと積極的にそのようなことに取り組んでいけたらと思ひます。知覧中だけでなく、他校の人たちにも考えてもらえたらと思ひます。

南九州市が良くなるのも悪くなるのも市民次第だと思ひます。一人一人が協力して助け合い、お互いを高めあつていく：それが大切なことではないかと思ひます。

僕は来春、高校を受験しますが、南九州市民として、市内の高校を目指し、目標を達成できるように頑張りたいです。

“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**12月9日**開会予定

手続簡単!! 本館2階で住所・氏名などを書くだけ



編集後記

迷走台風13号、15号がのろろと北上してきて南九州に上陸が懸念されましたが、幸いに直撃を免れ大きな被害もなくほつとしました。

編集に往き来する路傍には、彼岸花が赤や白、黄色と美しく咲き誇り、朝夕の涼しさに季節の移り変わりを肌で感じます。南九州市が誕生して早や一年が過ぎようとしています。地域住民の声が行政に反映するよう、議会だよりを通して議会の動きを皆様に伝えてまいります。(菊永 忠行)

▼広報編集委員会

委員長 森田 隆志
副委員長 峯苦 勝範
委員 竹迫 毅
菊永 忠行
田畑浩一郎
山下つきみ